

まるごと

機関紙

丸戸城

Special

築城500年記念特別号

発行 二戸市商工会青年部 二戸市福岡字横丁24
URL: <http://www.shokokai.com/ninohe> TEL 23-4 3 6 1

活かそう 我が町 我が史跡



低音の魅力で「天を衝く」を朗読する林隆三氏

十一月三日、風が寒いその日、「天を衝く」一秀吉に喧嘩を売った男・九戸政実一氏の著者の高橋克彦氏とIBCアナウンサーの村松文代さんとの対談の後、午後五時より出版記念パーティーとなりました。

十一月三日、風が寒いその日、「天を衝く」一秀吉に喧嘩を売った男・九戸政実一氏の著者の高橋克彦氏による著者であり、また地元の人気の九戸政実を取り上げたと言うことで地元に住んでいる方々だけでなく、近隣にご在住の方、「九戸政実」になにかしら所縁のある方が一堂に会してのパーティーという事で熱気がむんむんとしていました。



東北・岩手への熱い想いを語る高橋克彦氏

「天を衝く」出版記念パーティーに参加して
小保内 淳

また、本年は市制三十周年という節目の年に九戸城築城五百年の年ということで九戸政実一色の年であったと思います。パーティーの中身と言いますと、二部構成で第一部では出版記念のセレモニーで、高橋克彦氏の岩手へのこだわりと岩手への愛郷心が挨拶の全面に出ているように思いました。

また、本年は市制三十周年という節目の年に九戸城築城五百年の年ということで九戸政実一色の年であったと思います。パーティーの中身と言いますと、二部構成で第一部では出版記念のセレモニーで、高橋克彦氏の岩手へのこだわりと岩手への愛郷心が挨拶の全面に出ているように思いました。



二戸市のみならず近隣各地からも御来場下さいました

また、二戸にゆかりの有名人なグラフィックデザイナーの福田繁夫氏から高橋克彦氏への意味深なプレゼントと和やかに宴は進んでいきました。第二部のアトラクションでは山口久美子さんのモダンダンス、二戸大作太鼓愛好会の皆様による太鼓演奏、九戸政実太鼓の調べに合わせた山口久美子さんの即興によるダンス、また俳優林隆三氏のこれもまた即興でピアノの弾き語りも盛り沢山な内容でパーティーも盛り上がりしました。また料理に関しても国際雑穀食フオー

ます。また、二戸にゆかりの有名人なグラフィックデザイナーの福田繁夫氏から高橋克彦氏への意味深なプレゼントと和やかに宴は進んでいきました。第二部のアトラクションでは山口久美子さんのモダンダンス、二戸大作太鼓愛好会の皆様による太鼓演奏、九戸政実太鼓の調べに合わせた山口久美子さんの即興によるダンス、また俳優林隆三氏のこれもまた即興でピアノの弾き語りも盛り沢山な内容でパーティーも盛り上がりしました。また料理に関しても国際雑穀食フオー

第一部で出版社の方とNHKの方のご挨拶で、この小説「天を衝く」が、大河ドラマとなるには参加されている皆さんの尚一層のご

ラム代表で未来食アトリエ風主宰の大谷ゆみこ氏と未来食アトリエ風の皆さんによる雑穀を使った特別料理が出され、花を添えました。参加者はと言いますと、皆さんそれぞれ九戸政実に関する思い入れは相当なもので、お酒の注ぎ注がれには自身の九戸政実論をぶつ姿も見られましたし、現在放送中のNHK大河ドラマの「時宗」の原作者でもいらっしゃる高橋克彦氏へサインを求める姿も多く見られました。

去る九月四日、私は商工会青年部として、九戸城で行われた「香前供養」の会場設営のため、初めて九戸城跡へ行きました。私と九戸城との出会いは二十年前にさかのぼります。その時私は中学三年で文化祭のクラスの出展物として、畳二畳程の九戸城のミニチュアを製作した事が始まりです。現在はインターネットで検索すれば九戸城に関する膨大な資料が入手できますが、当時はその様な便利なものはなく、自分達で調べられる限りで想像も加えて作った事を思い出します。それこそ当時の私は、城跡と言えど三戸の城山や盛岡の岩手公園などを想像していきまして、実際に九戸城跡を見に行っても「どこが城跡だろう」と疑問に思っていた程でした。

去る九月四日、私は商工会青年部として、九戸城で行われた「香前供養」の会場設営のため、初めて九戸城跡へ行きました。私と九戸城との出会いは二十年前にさかのぼります。その時私は中学三年で文化祭のクラスの出展物として、畳二畳程の九戸城のミニチュアを製作した事が始まりです。現在はインターネットで検索すれば九戸城に関する膨大な資料が入手できますが、当時はその様な便利なものはなく、自分達で調べられる限りで想像も加えて作った事を思い出します。それこそ当時の私は、城跡と言えど三戸の城山や盛岡の岩手公園などを想像していきまして、実際に九戸城跡を見に行っても「どこが城跡だろう」と疑問に思っていた程でした。

「香前供養」と「九戸城」
熊野 正城



「香前供養」と「九戸城」。私は初秋の空と厳肅な「儀式」を遠めに眺めながら、お香の香りを感じ、そして数百年前ここは戰場だったという歴史を感じ取りながら、そこにある風景を楽しませていただきました。

「香前供養」と「九戸城」。私は初秋の空と厳肅な「儀式」を遠めに眺めながら、お香の香りを感じ、そして数百年前ここは戰場だったという歴史を感じ取りながら、そこにある風景を楽しませていただきました。

アンケートに「岩手を訪れる理由は？」と聞いたところ「何もなければ？」という答えが多かったと聞いたことがあります。我々のターゲットとする観光客は何を望んでいるのかを考えたときに、この九戸城の素晴らしい風景が武器になりうる可能性があるかと信じています。「百聞は一見にしかず」ということわざの通り、形があるとそれに囚われてしまいがちです。九戸城を訪れる人達がどの様な想いで訪れ、そして何を感じ取るか十人十色でも良いのではないのでしょうか。そして訪れた人達が「来て良かった」と思えるよう我々市民が「九戸城」に対して思い入れを深め受け入れ態勢を万全にすべきだと思っております。

アンケートに「岩手を訪れる理由は？」と聞いたところ「何もなければ？」という答えが多かったと聞いたことがあります。我々のターゲットとする観光客は何を望んでいるのかを考えたときに、この九戸城の素晴らしい風景が武器になりうる可能性があるかと信じています。「百聞は一見にしかず」ということわざの通り、形があるとそれに囚われてしまいがちです。九戸城を訪れる人達がどの様な想いで訪れ、そして何を感じ取るか十人十色でも良いのではないのでしょうか。そして訪れた人達が「来て良かった」と思えるよう我々市民が「九戸城」に対して思い入れを深め受け入れ態勢を万全にすべきだと思っております。